

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	成人祝賀式開催事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	生涯学習課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	青少年育成係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		17 生涯学習		2 住民の主体的な活動を支援する				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	新成人を対象に成人式式典を開催し、社会の一員としての新成人の自覚の向上を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 各中学校から推薦された代表者や、公募による新成人が運営委員となる運営委員会を開催し、新成人による成人祝賀式を企画運営した。 運営委員会では、過去の内容を再検討し、自分達でイベントの実施、記念品の有無、交流会のあり方などを決定した。 第1回目に昨年の運営委員4人にも参加してもらい、企画する上の助言をもらった。 第1、2回の運営委員会では、アイスブレイクゲームを取り入れ、緊張をほぐし、意見のしやすい環境づくりを行った。 職員は、運営委員会及び、成人祝賀式がスムーズに企画運営できるよう、助言・支援をした。 運営委員会開催回数：10回(委員会9回、リハーサル1回) 成人祝賀式終了後、運営委員に運営委員会や式典について、アンケート調査を行った。また、反省会として、運営委員に参加してもらい、次年度の資料とした。 応援職員に、式典の運営について意見をもらい、次年度の資料とした。 <p>◆24年度直接経費の内訳 消耗品費 820円 成人式運営委託料 4,222,471円</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 成人式運営委託料 4,530,000円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,469	4,334	4,224	4,530	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	1,599	1,599	1,599	1,599
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	6,068	5,933	5,823	6,129		
	対前年比	%		97.7	98.1	105.2		
財源	一般財源	千円	6,068	5,933	5,823	6,129		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	委員会委員人数	人	目標	20	20	20
実績				20	18	19	
	委員会委員参加率	%	目標	80	80	80	80
			実績	80	77	85	
	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			目標				
	成人式参加率	%	目標	75	75	75	75
			実績	75	72	81	
	成人式参加者数	人	目標	1,293	1,152	1,177	1,210
			実績	1,300	1,100	1,300	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	平成25年1月13日(日)13:30~15:30、パークアリーナにおいて開催第1部式典、第2部イベント(ビデオレター)、第3部交流会を実施。対象者数1,606人、参加者数約1,300人、出席率81%と目標を達成した。保護者の観覧席を設けたことで、約200人の保護者が観覧。第3部の交流会で、飲み物の提供を廃止したことで、交流会場のサブアリーナを広く使うことが出来、参加者には好評であった。					
		事業実施における課題	運営委員が、毎年新成人から選出されるため、毎年似たような議論が展開される状況も見受けられる。前年度委員からのアドバイスの機会を、数回提供できる体制づくりが必要。					
		事業を縮小・廃止したときの影響	広く市民に周知され、認知された事業であるため、廃止については市民の理解が得られない。					
		改善内容	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)				
				運営委員が検討するうえで参考に出来るよう、前年度委員に対して、2回目以降の委員会への参加を呼びかける。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
		判定理由	本市の式典は、新成人による運営委員会方式となっており、例年運営委員の協力のもと、厳粛な雰囲気の中で、実施されている。反省会での意見も達成感を感じられたなど、前向きな意見が多く出されている。また、前年度は参加者数が8割を超えており、現状規模での開催が妥当と判断した。					
		26年度以降の改善案	市が主催する式典後、各校ごとに同窓会が開催されている。式典第三部の交流会の必要性については、再度検討が必要である。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。